

松代温泉

松代の街には、何百年もの間にわたって人々が入浴してきた天然の温泉があります。そしてこの松代温泉は、大名の武田信玄（1521～1573 年）と深いかわりがあるのです。

1553 年から 1564 年にかけて、松代からそれほど遠くない場所で、武田信玄の軍は川中島の戦いで上杉謙信（1530～1578 年）の軍と戦いました。信玄のために戦った武士たちは、疲れを取り、傷を癒すために松代の温泉に入浴したとされています。決定的な証拠があるわけではありませんが、この説により、松代温泉は「信玄の隠し湯」と呼ばれているのです。

松代温泉には、日本の他の温泉とは異なる 2 つの特徴があります。1 つはカルシウムと鉄の割合が高いこと、また保温効果を高める塩分の割合も高いことです。そして 2 つ目は、地下を流れている間はお湯は無色なのですが地上に到達すると、含まれる鉄分が空気中の酸素と反応し、金色に変わるということです。この鉄分はお湯からゆっくりと分離し、オレンジ色の残留物の層ができ、この層がまた、松代温泉の特徴となっているのです。

松代の東側にある、地方自治体が運営する松代荘の温泉リゾートは、宿泊客と日帰り旅行者の両方に、天然の温泉でリラックスする機会を提供しています。松代荘は、伝統的な平屋の武家屋敷をイメージした作りとなっています。